

事後調査の結果

調査項目 : 水文環境

予測した事項 : 河川流量の変化の程度

1 調査地域

図1-1（別紙1 騒音）に示す計画道路の2工区（橋梁部施工箇所）とした。

2 調査手法

(1) 調査事項

ア 予測した事項

河川流量の変化の程度とした。

イ 予測条件の状況

- 1) 橋梁工事の状況
- 2) 降水量の状況

ウ 環境保全のための措置の実施状況

(2) 調査時点

ア 予測した事項（河川流量）

平成30年度は、2工区において、橋梁部の工事を実施した。河川流量の調査は、橋梁工事着手前から工事施行中の表3-1に示す期間に実施した。

表3-1 調査期間等

構造形式	調査期間	調査地点
橋梁部	平成30年1月～平成31年3月	八王子市西寺方町1214番付近

イ 予測条件の状況（橋梁工事の状況、降水量の状況）

予測した事項の調査時点と同じとした。

ウ 環境保全のための措置の実施状況

工事の施行中に随時実施した。

(3) 調査地点

ア 予測した事項(河川流量)

山入川の橋梁工事箇所とし、図3-1に示す1地点で実施した。

イ 予測条件の状況

1) 橋梁工事の状況

2工区の橋梁部の工事区域内とした。

2) 降水量の状況

気象庁八王子地域気象観測所とした。

ウ 環境保全のための措置の実施状況

2工区の橋梁部の工事区域内及びその周辺とした。

(4) 調査方法

ア 予測した事項(河川流量)

現地調査によった。

イ 予測条件の状況

1) 橋梁工事の状況

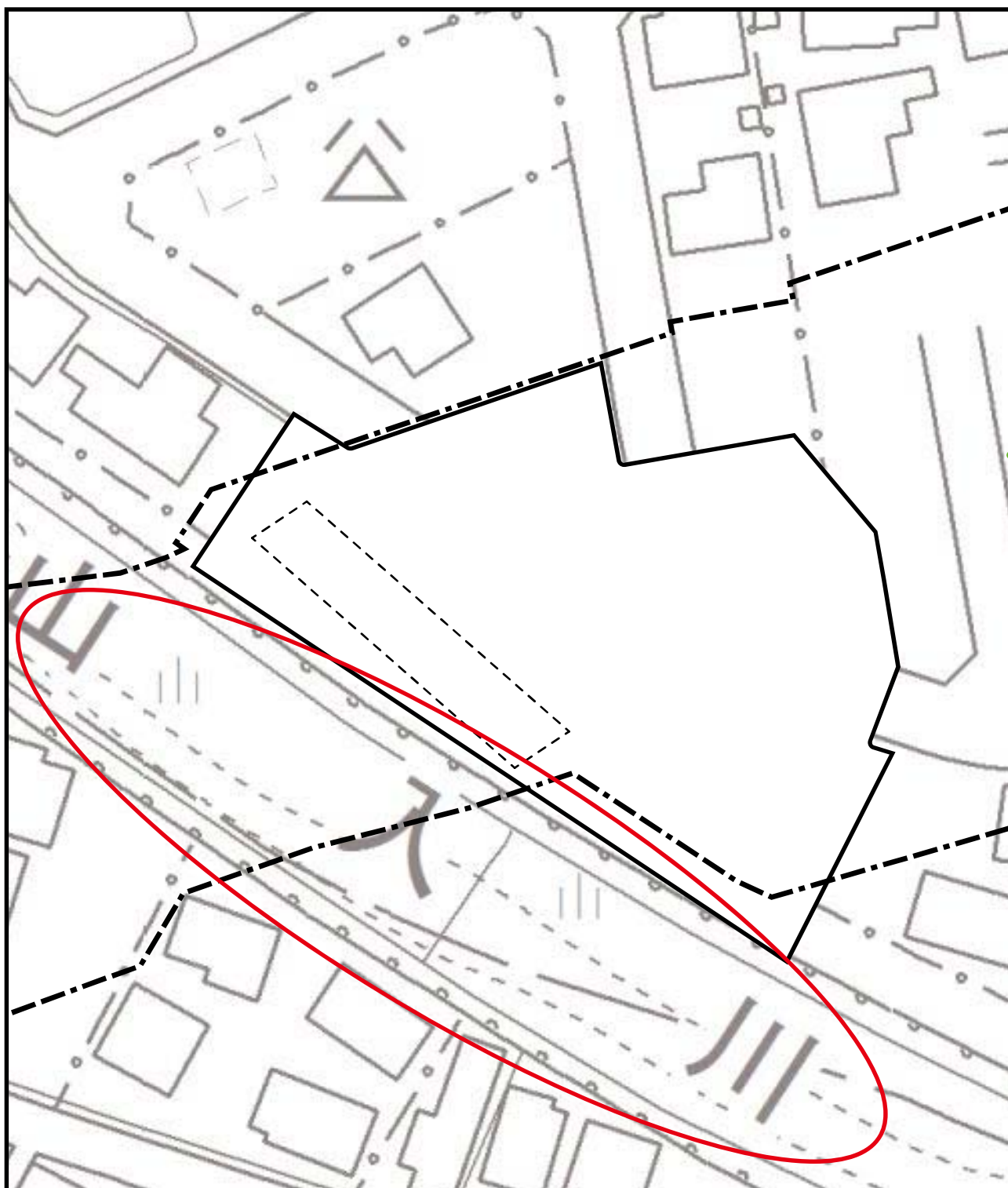
現地調査によった。

2) 降水量の状況

既存資料を整理した。

ウ 環境保全のための措置の実施状況

現地調査及び関連資料によった。



凡 例

--- : 計画道路

□ : 平成 30 年度施工箇所（橋梁部）

○ : 水文環境調査地点

□ : 鋼矢板打設位置

図 3-1 調査地点位置図



1:500

0 10 20m

3 調査結果

(1) 予測した事項(河川流量)、予測条件の状況(橋梁工事の状況、降水量の状況)

予測した事項(河川流量)及び予測条件の状況(橋梁工事の状況、降水量の状況)の調査結果は、表3-2に示すとおりである。

工事着手前から今回実施した橋梁工事施行中の調査期日において、山入川の流水は確認されなかった。

表3-2 水文環境調査結果

構造形式	調査期日	河川流量	調査前3日間 降水量(mm)	工事状況
橋梁部	平成30年1月25日(木)	無し	20	工事着手前
	平成30年2月8日(木)	無し	0	
	平成30年3月2日(金)	無し	39	
	平成30年4月13日(金)	無し	0	
	平成30年5月21日(月)	無し	0	
	平成30年6月6日(水)	無し	0	
	平成30年7月3日(火)	無し	0	
	平成30年8月6日(月)	無し	0	
	平成30年9月20日(木)	無し	9	
	平成30年10月17日(水)	無し	19	
	平成30年11月8日(木)	無し	9	準備工
	平成30年12月7日(金)	無し	5	基礎杭工
	平成31年1月11日(金)	無し	0	掘削工
	平成31年2月8日(金)	無し	5	橋台構築
	平成31年3月13日(水)	無し	54	橋台構築



平成31年3月13日撮影

写真3-1 山入川の状況

(2) 環境保全のための措置の実施状況

今回実施した橋梁工事において、該当する環境保全のための措置はなかった。

なお、平成30年度の工事において、水文環境についての苦情はなかった。

4 評価書の予測結果と事後調査結果との比較検討

工事着手前から今回実施した橋梁工事施行中の調査期日において、山入川の流水は確認されなかった。評価書作成時においても降雨時を除くと水量が非常に少なく、渇水期は干上がっているところが多かった(評価書p.323)ことから、予測のとおり今回の工事による河川流量の変化はなかったと考えられる。